

得点階級	中 学 2 年					百点満点に換算した得点階級
	国	社	数	理	英	
30～31.9	—	—	—	—	1	75～
28～29.9	5	—	—	—	4	70～
26～27.9	11	—	—	—	6	65～
24～25.9	42	3	—	—	12	60～
22～23.9	75	4	1	3	34	55～
20～21.9	102	8	2	3	69	50～
18～19.9	87	22	12	10	83	45～
16～17.9	26	67	24	29	78	40～
14～15.9	5	117	152	117	54	35～
12～13.9	1	107	85	165	10	30～
10～11.9	—	25	23	25	2	25～
8～9.9	—	3	46	4	2	20～
6～7.9	—	—	9	—	—	15～
4～5.9	—	—	1	—	—	10～
2～3.9	—	—	1	—	—	5～
計	356	356	356	356	355	—

学校について分析考察して、現場での利用活用に供した。

6 学校基本調査

この調査は、指定統計第13号として、毎年県統計課が調査するものであるが、全学校について、学校に関する基本的事項を調査し、その結果は多方面の基礎資料となる重要な調査であるので、文部省の説明会や統計課との研究打合せ、県内説明会への出席など、秘書室や学校教育課と共に、積極的に協力した調査である。

当所は、この調査結果から、集計、分析、年次系列などの統計処理を行い、「学校統計要覧」を編集刊行し、教育行政施策の資料とした。

7 表 彰

昭和36年度調査統計の功績者として37年度において文部大臣表彰を受けたものは、次のとおりである。

(1) 学校設備調査

猪苗代町教育委員会
鹿島小学校
湯本高等学校

(2) 地方教育行財政調査

新地村教育委員会
平石小学校
長沼中学校
荒館中学校

(3) 産業教育調査

郡山工業高等学校

(4) 全国学力調査

須賀川市教育委員会
坂下町教育委員会

第3節 教育研究

昭和37年度に研究係として、研究または実施した事業は次のとおりである。

(1) 研 究

- ① 望ましい学習指導法の組織化
- ② 学力の要因としての教育的条件の研究
- ③ 診断的性格を帯びれ福島県で標準化した学力検査問題の作成
- ④ 全国教育研究所連盟の共同研究

(2) 研 修

- ① 調査、研究結果の普及
- ② 長期研修

1 研究調査結果の普及

(1) 目 的

なお具体的には報告書として

紀要45

昭和37年度全国小・中学校学力調査報告書

～統計編～

を発行し、それぞれの立場での利用活用に供した。内容としては、

① 調査の概要

② 調査の結果

- 問題の作成方針をねらい
- 平均点、標準偏差、変更係数
- 学校平均点の分布（類型別）
- 生徒の得点の相対度数
- 各教科小問正答率
- 県で標準化した換算表

③ 調査結果の利用について

- 集団の学力診断
- 生徒の学力診断

また研究所「所報第2号」に昭和37年度全国小中学校学力調査の問題点として中学校の社会、理科、数学および小